

過去の文献から知る 土曜授業の歩み



速報新聞
発行所

キマグレ

彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

土曜授業の変遷

- 1948年（昭和23年）度
週5日制実施（1952年（昭和27年）まで）
- 1992年（平成4年）度
学校教育法施行規制改正により毎週第2土曜日が公立学校の休業日に
- 1996年（平成8年）度
2学期制開始
- 1998年（平成10年）度
65分授業開始
土曜日企画の実施 講演会・芸術（オーケストラ）
- 2002年（平成14年）度
週5日制開始
土曜講座開始（希望者対象）
- 2003年（平成15年）度
新指導要領による教育課程スタート
土曜講座を1年生主体に変更
55分授業開始
- 2009年（平成21年）度
土曜活用・教室開放開始
- 2012年（平成24年）度
50分授業開始
- 2015年（平成27年）度
土曜授業開始（年内9回） 県内初LSP開始

1948年（昭和23年）、滋賀県が全国に先駆けて学校

1年に数回実施される土曜授業。なぜ東高には土曜授業という制度があるのか、疑問に思ったことがある人は少ないだろう。今回新聞部は過去の文献を調べ、土曜授業の変遷をまとめた。

参考…彦根東高120年史・創立140周年記念誌

の授業日を週5日とする制度（以下週5日制）を始めた。本校は授業のない土曜日を、修学旅行や模試試験、遠足などの学校行事や教職員土曜講習会などの教員の現職教育に当てていたようだ。このように当時の土曜日の取り組みは、今の土曜授業の元となる部分があることがわかる。1952年（昭和27年）3月に滋賀県が週5日制から週6日制に

戻し、それと同時にこれらの土曜日の取り組みは幕を閉じた。

1998年（平成10年）の4月に実施された土曜日企画は、現在行われている土曜授業の原型となる取り組みで、2002年（平成14年）から始まる週5日制に対応するた



◀これらは図書室に置いてある。興味のある人はぜひ一度手に取って読んでほしい。

めに土曜日の活用が進められてきた。土曜日の授業を活用して「総合的な学習の時間」を発展させる土曜日企画「教養講座」などが始まり、講演会やオーケストラなどの芸術鑑賞が行われたようだ。当時は土曜日をあまり授業時間として使わず、ロングホームルームや学校行事の時間として使っていたということがわかる。

だが2002年（平成14年）から希望者に対して月に2回の土曜講座が行われ、2015年（平成27年）には授業時間を確保することや、平日の1日の授業を6限にすることで、教師と生徒の心身の負担を減らすための理由から、土曜日に全員参加の授業が行われるようになった。加えて本校生徒が将来社会に出たときに、リーダーとして活躍することを期待して立ち上げられた企画『リーダーシッププロジェクト（以下LSP）』も開催された。LSPでは本校OBの講師が来校され、さまざまな興味深いテーマについて講演された。

次号では北川幹芳前教頭先生にLSPについて、現在の土曜授業の問題点や実施状況、そしてこれからどう変わっていくのかについて話を聞く。